

付属資料 3 地域からの意見

意見の収集方法は、ヒアリングおよび熱海港客船誘致委員会（2回）によった。

1. ヒアリング先と実施日

ヒアリング先	実施日
(株)スパ・マリーナ	11月17日 11月30日
(株)富士急マリンリゾート	12月22日 3月6日
青木建設(株)	12月22日
大熱海漁業協同組合	12月22日
特定非営利活動法人 atamista	3月6日
(株)JTBグローバルマーケティング&トラベル	1月25日
(株)熱海魚市場	3月13日
ホテルサンミ倶楽部	3月5日
古屋旅館	3月13日
いけす料理 漁火	2月5日
活魚料理みつはし	3月6日

表 1.1(1) 熱海港賑わい創出 ヒアリング意見一覧

分類	意見
整備計画全体	今後整備を進めるエリアもイメージは統一したい。
	港に関連する事業者(漁業者、秘宝館、ホテル等)とも共存できるように、ウィンウィンとなるような整備にしたい。
	漁協も将来像を描いているが、漁協の前の海を埋立する案である。
	漁協の希望は「魚市場の海側への移動」と「今ある店舗の存続」である。現在は、魚屋さんが利用しており、1回/2ヶ月の頻度で魚祭りを実施している。将来的には観光目的で毎日営業したいと考えているのではないかな。
	港内の工事を請け負っている建設会社(青木建設)もマリーナの景観に気を配っており、公共のヤードを作れば作業船は移動することである。
	国際化にも対応できる必要がある。
	漁業関係者の施設辺りが賑わうとアプローチも良くなる。橋が繋がると、富士急が移動した辺りにメガヨットが泊まり、キャンピングカーの出店や、フィッシャーマンズワープ、お土産屋が連なると人が流れていくのではないかな。その先のターミナルにカフェ等があれば、人は歩いていくと思う。現在の海釣り施設の辺りから陸を見る景色が良い。
	お店を出店する際は、最初は仮設でマルシェを始め、徐々に進めていけば良いのではないかな。
	釣りについても、自分たちが釣った魚をパーベキューで食べられると良い。
	海まで人を誘導し、誘導した先を賑わす必要がある。海外のリゾート地の海岸線の使い方が参考となる。
	海外の船を受け入れる場合、清水で入出国手続きをして、熱海等、伊豆半島を周遊するルートが考えられる。プロモーションの展開、マーケティングが必要であろう。
	メガヨットは、着眼点として良い。長期滞在の観光客を対象にすると良い。熱海は都心に近く、新幹線があるので有利である。新幹線等の陸路や他の港と連携するルート等、多くのオプションが考えられる。熱海はポテンシャルが高く有利である。
	財源に限られ、波除堤により一定の静穏度が確保されている中、防波堤延伸への投資が妥当かどうか。全体的なマスタープランがあれば、海岸整備事業等を優先する考え方もある。
	防波堤等の外郭施設は操船の支障になる可能性があるため、多すぎない方が良い。
	初島を含めて熱海を周遊して帰るコースを定着させると良い。
	熱海は、旅館等の坂の上から海を見る景観がメインである。海から街を見る視点、景観は弱い。初島航路の船上から熱海の街並みを見る景観が美しい。離れた所からの景観が綺麗。
	クルーズ船誘致に関連して陸側の施設等を整備する中で、鮮魚の市場、食堂街、船揚場(水道、給油施設)等を合わせて整備する。
	250人の乗客が6時間、市内に滞在できる施設。動線の確保。熱海にしかないものを売りにする。清水、下田にないものが熱海にはある。
	坂の街で景観に魅力がある。日本丸の船長は「港を間違えることがない」と特徴ある地形の魅力を語る。熱海は全国区の知名度である。
	北防波堤の整備は陸側に「守るべきもの」があることが前提。住民人口は3.7万人だが、交流人口6~7万人を含めた観光防災として考える。
クルーズ船誘致委員会が立ち上がった今が整備計画を進める絶好のタイミングである。	
熱海は集客施設が点在していることが課題である。港の機能を集約して効果を発揮するべき。	
今後整備する第4工区から先は、開発余地のある有望なエリアである。港の奥部は可能性を秘めている。	
ヒューマンスケールの港。海と触れ合い、恵みを味わえる場所づくりがポイント。	
車から海が見えないのは残念。今回は車で通過するが次回は熱海に泊まろうという客の潜在意識に訴えることが重要。	
熱海は漁協・漁港が消費地に近く有利である。	
分類	意見
伊豆半島全体等の連携	伊豆半島全体をディステーションとした西海岸との連携は、ラグジュアリーなメガヨットを対象とした場合、可能性が高い。
	伊豆半島ジオパークがある。西海岸のジオパークには海からしか見えない資源もあり、国際的な資源である。富士山の夕日を見む駿河湾等、西海岸の景観は海外のラグジュアリーな客に好まれる。
	地中海クルーズのように各港で半日・1泊インバウンドする。伊豆半島は東海岸と西海岸で景観や海産物が異なり魅力がある
	熱海港から沼津港への周遊ルートで、観光資源を囲む港が連携すると良い。松崎港は、岸壁等設備が整っているので候補になる。
	国内向けもクルーズ業界の課題である。日本のクルーズ人口は20~25万人であり、10年後に50万人にしたいと取組中。大消費地である横浜港や神戸港が基本だが、熱海港は神戸と連携した商品が有望と思われる。
	豪華列車と船との連携は国内向けに可能性がある。
	ニーズに合わせて、首都圏から陸路と海路の周遊ルートを、船社等の橋渡しをして商品開発できると良い。
	外国から清水に入った船が、2番目に熱海へ回ると良い。熱海の温泉、食べ物、芸者、文豪が愛した町等の文化は、清水等とは異なる魅力を持つ。
	初島に来る大勢の方に、熱海の景観や良さをインプットする。潜在的なPR効果は大きい。

表 1.1(2) 熱海港賑わい創出 ヒアリング意見一覧

分類	意見
動線計画	熱海港は新幹線の駅から最も近い港であり、特性を活かすべき。
	駅は賑わっている。駅から海岸線へ移動する方法を検討し、人の流れを作ることがポイント。例えば、シャトルバスでビーチの裏の東駐車場に下す、駅前のホテルの送迎バスの乗車を東海岸とする等。または、駅から海岸へ地下エスカレーターでピアーズまで移動する等。
	駅からの動線には、物理的な制約があるので工夫が必要である。姉妹都市のサンレモ(イタリア)では、駅がトンネルの中にあり、トンネル500mを抜けた先に海がある。長いエスカレーターやその先に港・船等、特徴的なものがあると観光客が流れる。
	桟橋・ピアーズは、視界が広がる。サンビーチから海沿いに埋立地(和田浜)の先まで動線を確保したい。環境にやさしいLRT等を海岸線に走らせる案、電動アシスト自転車もある。パークアンド・ライドとLRTの組合せ等、歩ける海辺としたい。リスポンのイメージ。
	和田浜付近では橋で7半岸壁に人を渡す案がある。
	海と陸それぞれの回遊性をどうするかが問題である。乗り物の多様性は必要である。
	坂の町なのにケーブルカー等の利用が無いのは不思議である。
	車両規制や周遊バスを使う案がある。逆に狭い道路を活かして、迷路の町にする方向性も有り得る。街並みの面的広がりを活用して、一か所に集約しない方向性、ヨーロッパ的な隠れ家のある散策ルートを広げる案もある。
	マップはあるので標識、サインを工夫すると良い。マップが苦手な方も標識やITを活用した案内は分かりやすい。清水港の事例を踏まえ、海外の方に配慮したwifi環境を整える必要がある。
	海上タクシーを漁師にお願いする案がある。遊覧船は海を身近にする。海から陸を見る景観は非日常的で旅情をそそる。
	国道への出口が渋滞する。1時間待ちの場合もある。富士急の船が着いた時に横断歩道を渡る人が多く、港から出る車が右折できないのがネック。歩道橋等があると良いかもしれない。港出口の渋滞は「初島渋滞」と呼ばれている。港から出る車と人の動きの構造的な問題である。
	ループ橋で通過交通を流す案があった。それ自体が観光の目的地にもなる。
	子供からシニアまでの安全と渋滞解消等に配慮して、駐車場に車を停めLRTで海岸線を移動。港全体を回ることができる整備をしたい。釣り公園も大きいものは必要ない。全体をコンパクトに集約すべき。
	海上タクシーは海から町を見ることができる普段ない機会。船に乗ること自体が旅情をそそる。着いた先で景観を楽しみながらの食事が良い。
伊東のマリナタウンは観光市場と市街地が離れている。交通に課題がある。	

分類	意見
-7.5m岸壁 周辺	日本丸は現在の7半岸壁を桟橋式で伸ばせば200mの船まで対応可能と考える。海釣り公園の内側にクルーズ船が停泊するように移動し、陸側には客船ターミナルやシンボリックな建物を建てるという案もある。
	干満があるので浮桟橋がよいのではないかと。桟橋等に付着する生物はそれほど多くない。
	クルーズ船を沖へ錨泊する案はあまり考えていない。上陸する場合、更に交通アクセスが悪くなる。
	日本丸が着岸した際はシャトルバスが横付けし、親水公園までピストン輸送する。またはタクシーを利用する。定期船を移動する場合はバス停も移動するので道路整備も行き、客船ターミナルは津波対策も兼ねた建物とすれば良いのではないかと。
	飛鳥Ⅱクラスの大きな船を入れることに固執したハードありきの整備ではなく、メガヨット等を誘致する方針が望ましい。
	クルーズ船が沖停泊する場合、アンカーを打てるのは水深30m以上である。熱海港は水深が浅くても地形的に制約がある。地形や物理的な制約を踏まえて、着岸できる船を対象とすると良い。
	夜の街を歩くのに適した照明や岸壁の整備が必要。
	ターミナル付近の利用が課題である。人の動線や賑わい施設等は後楽園ホテルの温泉施設と合わせて、第四工区から南側のエリアまで持ってくる必要がある。
	臨港道路と合わせて、シンボリックな避難ビルにもなる賑わい施設としての客船ターミナル等の整備が考えられる。釣り以外に、夜を含めて海側からの景観等、熱海を楽しむ賑わい施設が必要。
	マリーナの船から給油の要請があった場合、専用の給油施設がないので、最寄りのガソリンスタンドへ依頼し、岸壁まで給油に来てもらっている。漁船と同じ状況・対応である。港の整備計画にあたっては、マリーナの船や漁船に給油できる専用の施設を計画いただきたい。港の利便性が高まれば、寄港する船が増加し、港が賑わう。漁業関係者の受益も大きいと思われる。
	釣り施設は、防波堤の外側へは難しい。消波ブロックがあり安全面で課題がある。漁業権も設定されている。付近を通行する船舶に支障がないようにしなければならない。
	防波堤を釣り施設として開放したのは全国初。良い釣り場となっており評判が高い。
	釣り施設には市外から来ている人が多い。バーベキュー等ができる食べる施設があると良い。50人ぐらいが利用できる小規模なもので良い。
	作業船を別の港へ移動させることは可能。網代港は条件が良い。
	作業船への給油施設は、タンクローリーの使用で支障ない。
	-7m岸壁は200mを埋立て前出して拡張する案、橋をかけて下を船が走れるようにする案がある。通る船は小型で橋の高さも相応で良いはず。
	岸壁を桟橋で造れば消波効果が期待できる。反射波が小さくなり港内波が抑えられる。
	帆船が帆を張って港に停泊する景観は絵になる。熱海の街並みを背景とした日本丸の写真を海側から撮りたい。沖からは遠景に富士山も見える。
	クルーズ船誘致のために-7.5m岸壁の整備が必要であり、港内静穏度を高めるために北防波堤の整備が必要である。これらを加速するために、賑わいのある守るべき施設等の整備が必須となる。

表 1.1(3) 熱海港賑わい創出 ヒアリング意見一覧

分類	意見
クルーズ船 メガヨット	メガヨットが入るとクルーを雇ったり食事をしたりするので雇用が生まれる。1艇につき3か月で約2,000万円の経済効果がある。クルーズ船の寄港による背後地への経済効果等を世の中へ発信することが重要である。
	世界全体を見渡してメガヨットやラグジュアリー船等をターゲットにした、熱海ブランドに合った小型船を誘致する方針が望ましい。
	年に数回寄港するクルーズ船より、日常的にメガヨットやラグジュアリー船が停泊している港が良いと思う。プロモーションを絞って、欧米の富裕層を客として想定すると良い。
	日常的にメガヨット等が停泊すればクルーが街を利用し、船を見に来る観光客で港に活気が出る。ラグジュアリーな船は景観的に魅力がある。
	港が狭いのが課題。大型船ではなく30mぐらいの船は入る。ヨットハーバーの需要はあり順番待ちである。
	クルーズ船誘致等への対応は将来的な課題として、現在のスペックで入れる資産価値の高い船・ヨットがマリナに常にある状況を作りたい。豪華なヨット等が常に港にある美しい景観が人を集め、さらに賑わいを創出する。

分類	意見
渚町	渚町は再計画が進んでおり、新しいお店も出店しているので、新たな整備はしなくてもよいかもしれない。海岸線を散策後、渚町で食事をするなど、海と連携して進めていくイメージである。
	国道と渚町の間は昔の日本、渚町より山側は見番や起雲閣等があるので浴衣で歩くような雰囲気、それより山側は奥座敷があるような雰囲気が良い。
	芸者さんが時間を決めてでも歩いていると、観光面からは目玉となる。
	オーバーナイトで夜の街・熱海を楽しんでもらう、散策し、体験してもらい必要がある。高齢者対応でしっかりした歩道の整備やバスの用意等が必要になろう(クルーズ船対応)。
	港と背後の街並みとを分断する国道がネックとなっている。東海岸のサンビーチの一帯立地条件の良い所に駐車場がある。駐車場の上を有効活用する必要がある。なぎさ地区との関連等が課題である。
	単発の施設、要望に応えるのは難しいが、大きなビジョンの中では上手く取り組める可能性がある。
	現在の渚町には人がいない。起雲閣へ行くぐらい。親水公園と連携させエスカレーター等を活用した動線の確保が重要。人を海へ下す工夫、坂道を上る工夫が必要。

分類	意見
賑わい施設	熱海は海を抱く弓状の地形で平坦ではないので、海側から街並みを望む景観は美しい。
	ポテンシャルを活かして、駅前から海岸、街並み、南側の海岸、釣り施設周辺等の周遊ルートができて、夜も海側に人が集まる賑わい施設等ができれば民間投資が期待できる。コンパクトにまとまった熱海は有利な条件を持っている。間違いなく人が集まる。
	港全体で熱海にふさわしい賑わいを創出する中心施設等を検討し、方向性を示すことで、民間投資を呼び込みたい。
	防潮堤の上を活用した「サンレモカフェ」は、人通りも考慮した先進的な良い事例である。
	ピアーズは賑わい施設として熱海にふさわしい。ピアーズを活用した海岸線の賑わい創出や市内の回遊性を高める方策が必要である。海辺でお茶をする等、熱海に来たらここへ行かないと、という目的地を海岸線に作る必要がある。
	みなとオアシスや港湾協力団体(釣り施設、清掃、花壇等)との連携等、ソフト施策の検討も重要である。
	車は渋滞するので、海・港から町へ人を呼べるとう良い。
	ピアーズを2階建てにしたり、海釣り施設も2階建てにすると眺望がよい景観が利用できる。
	ダイビング客は年3,500人程度が来る。気軽に食事をする施設が必要。便利で快適で雰囲気がある施設があれば人が集まる。
	規模が重要だが、熱海港にはそれほど大きな施設は必要ないと考える。
	臨港道路とフィッシャーマンズワーフ(市場・食堂・土産が買える場所等)の整備と合わせて、海からの景観を楽しめる観光タワーがあれば集客施設となる。利用客の安全のため観光タワーに避難タワーの役割を持たせる案がある。複合的な集約施設はランドマークにもなる。
	熱海の景観に注目したピアーズやカフェ等、稼げるエリアの検討が重要である。

分類	意見
防災・減災	防波堤の延長は防災対策としては可能だが、観光面からは難しい。
	波がまっすぐ港に入ってくるので静穏度が問題となる。年間20%(5日に1回)は北東の風が吹き、波が立つ状況であり、船の入港や港湾工事に影響が出ている。
	花火大会の時には6,000人、夏季利用者は8,000~10,000人の利用者があるので、防災面からも防波堤の延長は必要と考えている。
	海釣り公園から後楽園ホテルまでは距離がある。津波は3分で行くので今度整備する際にはその点も考慮した方がよい。
	陸側の施設等をより早く整備するため防災の視点を入れる。4工区から先の避難施設の整備を兼ねる。観光と防災の視点で整備する。

表 1.1(4) 熱海港賑わい創出 ヒアリング意見一覧

分類	意見
漁港、水産 関連	東北で水産庁が整備した荷捌場の事例等が参考になる。
	クルーズ船の乗客は、港町に来たら最初に美味しい鮮魚を食べたい。清水港でも初島でも同じ。熱海にセカンドハウスを持ち、船を利用する人に、海で何をしたいか聞くと「新鮮な海産物を食べたい」と答える人が多い。
	現在街中にある市場は、以前から海へ出たい意向を持つ。船から運搬等を考えると、市場は港に近接していた方が圧倒的に便利である。市場が便利であれば、周辺から船が集まってさらに賑わう。
	魚市場が盛況になると人々の関心が海産資源に集まり、磯場や藻場を守ろうという機運にもなる。
	市場が海から離れているので、海水を自由に使えないし、運搬も不便である。以前から海へ出たいと考えている。市場を海の近くに整備したい。
	少量多品種は売りになる。季節ごとに旬の魚を味わえる。漁獲される魚が時期によって変化するということは、日替わりで様々な魚を味わえるということで、リピーターにとって魅力となる。
	清水や沼津は漁協が株式会社として市場をやっている。前浜でとれた魚を熱海でも使ってほしい。地元の漁協と結びついた食堂で、四季折々の地元でとれた魚を提供したい。千葉県保田漁港では獲れた魚が雑魚を含めて全て売られていた。量が少なく流通に乗らない未利用の魚が実は美味しい。現在流通に乗っていない熱海の雑魚もブランド化して、日替わりメニューで提供することができる。
	市場が必要。団体客が減って、旅館も小さくなっている。同じ種類の魚が大量に必要な場面は少ない。地元の魚を出す飲食店が増えている。地産地消がリピーターに受ける。量が少なくても市内の飲食店では日替わりメニュー等で出せるはず。食材を活かす料理人がいる。
	食堂からは船揚場や岸壁が見えて、魚を水揚げする様子や市場の様子が見えると良い。沼津や三崎のように、2階から漁港や市場の様子を見ながら、新鮮な魚を食べる場所の整備が必要。
	時間的制約があるので、市場と食堂がコンパクトにまとめた施設が良い。
	熱海に市場ができて拠点となれば、活気が出て人が集まり、物流が変わる。魚が外から集まる市場にしたい。
	浜で軽く食べ、市内でしっかりと食べる。色々なシーンを作って各エリアで食べられるようにする。日帰りの客が次回は宿泊するようにしたい。

分類	意見
港湾施設等	遊覧船と大島航路、初島航路のターミナルを一本化する必要がある。
	現在のターミナルを-7.5m岸壁側に移すと、利用者1,000人を3分間で背後の高台へ避難させられなくなる。客の命を守る義務が最優先と考える。生活航路の安全拠点として、現在の場所が良い。
	船の係留は港の奥にするのが基本であり、安全である。
	フィッシャーメンズワーフが必要との企画を熱海市長へ提出している。(企画担当部署で検討しても良いと伝えている。)

分類	意見
その他	バイオマスエネルギー(省電力発電、木質バイオマス)の出口(バイオマスエネルギーを用いて夜のライトアップ等)として連携していくことも可能と考えている。
	来年度の静岡県 destination キャンペーン(5地区)に、船旅を盛り込んでもらおうと良い。
	屋間にはない夜の照明デザインやライトアップで施設等の価値が一気に上がるとされる。インスタ映えする場所等に人が集まる。
	クルーズ船誘致と港の再開発とは別問題と認識している。
	初島観光開発を50年間、初島離島航路で年間30万人の輸送をしてきた実績がある。熱海市に多大な貢献をしてきたという自負がある。
	具体的に事業主体がどこになるか心配している。
	民間企業と行政が協力して共存共栄の町を造る。国や市の予算を活用したモデルとして作りこみたい。市の役割に期待して国が予算を付け、官民連携の検討を国が支援するものと理解している。
	山中湖・河口湖周辺の推移・事例を見ている。箱物整備の後始末の大変さも知っている。儲かっている時に連携がないと衰退する。

2. 熱海港客船誘致委員会（平成 29 年度第 2 回）

2.1 日時・場所

日時：平成 30 年 2 月 16 日（金）13:30～16:00

場所：熱海市役所

2.2 議事次第

- | |
|------------------------------------|
| 1. はじめに |
| 2. 議事～「熱海港湾エリア賑わい創出整備計画(案)」に向けた検討～ |
| 1) 委員間情報共有（アイスブレイク） |
| 2) 情報の共有（提案の説明） |
| （1）「熱海港湾エリア賑わい創出整備計画（案）」について |
| （2）岸壁利用の提案（ポートエリア） |
| （3）港湾域の施設配置の提案（和田浜エリア） |
| （4）熱海港の賑わい創出に向けた提案（サンビーチ、渚町など） |
| （5）人の回遊に向けた交通計画の提案 |
| ～休憩～ |
| 3) ワークショップ（意見の共有：KJ 法） |
| 3. 閉 会 |

2.3 配布資料

資料_1；次第（本紙）

資料_2；出席者名簿：熱海港客船誘致委員会 構成メンバー、事務局

資料_3；ワークショップ配席

資料_4；ワークショップ参加のみなさまへ

資料_5；説明資料

資料_5 (1)；「熱海港湾エリア賑わい創出整備計画（案）」について

資料_5 (2)；岸壁利用の提案（ポートエリア）

資料_5 (3)；港湾域の施設配置の提案（和田浜エリア）

資料_5 (4)；熱海港の賑わい創出に向けた提案（サンビーチ・渚町など）

資料_5 (5)；人の回廊形成に向けた交通計画の提案

2.4 参加者一覧

熱海港客船誘致委員会

	ご所属等	氏名	備考
会長	熱海市 市長	齊藤 栄	ご欠席
副会長	伊豆小型船安全協会熱海支部 支部長	鶴沢 精一	熱海港連絡協議会
副会長	熱海市観光協会連合会 会長	中島 幹雄	
	熱海商工会議所 会頭 事務局長	内田 進 太田 最巳	ご欠席
	熱海市ホテル旅館協同組合連合会 会長	目黒 俊男	
	大熱海漁業協同組合 代表理事組合長 参与	遠藤 哲也 森 幸裕	熱海港連絡協議会
	株式会社富士急マリンリゾート 取締役社長 富士急行株式会社 静岡所長	鈴木 淳郎 渡井 務	熱海港連絡協議会
	青木建設株式会社 代表取締役社長	佐野 茂樹	熱海港連絡協議会
	株式会社スパ・マリーナ熱海 ハーバースタッフ	遠藤 光幸	熱海港連絡協議会
	静岡県交通基盤部港湾局 港湾企画課長 港湾企画課班長	木村 尚之 深津 幸宏	
	静岡県熱海土木事務所 所長	植松 静夫	熱海港連絡協議会
	静岡県文化・観光部伊豆観光局 局長	神山 正之	
	熱海市 副市長	森本 要	熱海港連絡協議会

2.5 開催状況



副会長挨拶



アイスブレイク



情報共有状況



情報共有状況



情報共有状況



情報共有状況



意見交換状況



意見交換状況



意見交換状況



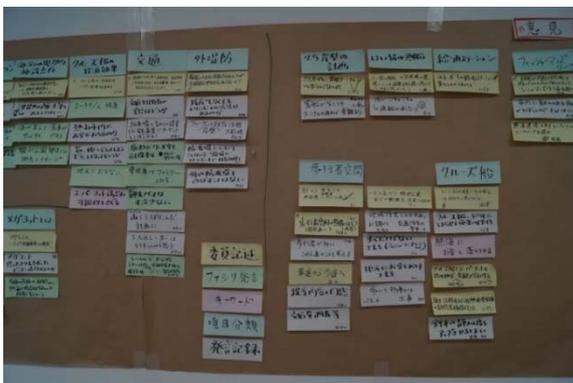
意見交換状況



副会長挨拶



意見交換結果



意見交換結果



意見交換結果

表 2.1(1)熱海港賑わい創出 第2回客船誘致委員会(2018.2.16) ワークショップ意見

分類	項目分類	委員記述	発言記録
質問	海の視点場	駅周辺から海が(港が)確認できる(視認できる)ポイントはどこでしょうか？	陸から電車で行く人、知らない人でも海がパッと見える視点はありますか？
		駅周辺に来られる観光客の方々は海に行きたいと思っているのでしょうか？	そもそも海をめざしてくる？
	魚の供給量	熱海の鮮魚は十分に供給できる量はあるのか	充分の魚がとれる。空洞化はホント？
			今はとれない 期待できない
			量はあっても均一でないと出せない その供給量あるのか
			地産地消したいのは本音
			魚市場があれば熱海の魚を買いたい
			一つの旅館で100匹単位の量がある 沼津等から仕入れている
			お客さんのニーズに応じた注文体制がある
	和田浜地区の計画	和田浜地区の将来の商業圏の位置作り	
	目指すまちの姿	目指すまちの姿は？	観光地であること にぎわい
			全国の中で 海外からの 位置づけ
	スーパーヨットの誘致	スーパーヨットの誘致はどのように行う？	富裕層の個人へどうアプローチする？
		スーパーヨットを呼ぶ利点、経済効果・費用	負のいさんを残すことになるかも
	シーサイドステーション	-7.5m岸壁にあるシーサイドステーションのイメージは？	岸べきの方への乗りおりは？
	海沿いの魅力的施設点在	「海沿いの魅力的な施設点在」の具体的解決策をもう少し詳しく教えてください	8つの課題の解決策をおしえてほしい
	クルーズ船の経済効果	クルーズ船が熱海市内に与える経済効果は	熱海市内お金がおちるのか
			皆、他へ行ってしまう。どうとどまってもらうか
	クルーズ船	ターゲットとするクルーズ船(小型)の国内マーケットの状況(船数、旅客、日本人、外人) スーパーヨットとは？	
	集合施設	集合施設の運営責任と持続性	責任はだれがとるのか
	@海センター	@海センターはどんな建物でどこに立地？	
	メガヨットとは	メガヨットは-7.5m耐震岸壁への誘致？	メガヨットは、思ったより大きかった どこに誘致するのか
	交通	宿泊者+日帰り客の来訪手段、通過車両。新幹線+在来一自家用車、観光バス 割合はそうなっているのか？	交通利用者の実態はどうか
			駐車場を含めての提案だが鉄道客にターゲットをしばったら？
			ターゲットをしばらくこんだ計画に
			エスカレーターはとてもしいいと思う
	外堤防	客船の大きさに限度があると言うが外堤防を伸ばす方法は可能か？	接岸しなくてもとりこむいい方法はあるのか
			クルーズ岸壁は既存活用大前提
			防波堤に突堤をつけている 離岸堤にテトラポットで代替効果を
			外の防波堤をのばすことはない

表 2.1(2) 熱海港賑わい創出 第2回客船誘致委員会 (2018.2.16) ワークショップ意見

分類	項目分類	委員記述	発言記録
意見	7.5岸壁の計画	7.5岸壁に客船ターミナルは必要なのでないか	客船がなくてもターミナルがあれば景観的に良い
	けい留の漁船	けい留の漁船、上架施設の整備についても理解がある様感じた(不安に思っていた)	汚い ごちゃごちゃ 漁船のゆったり もり
	給油ステーション	ヨット・ボートの給油ステーションが第4工区にほしい	
	フィッシャーマンズワーフ	首都圏から来遊される方の多くは伊豆のグルメを求めてこられるので、フィッシャーマンズワーフは必要では	市内に魅力のある施設がほしいのでFWWほしい
		熱海港湾エリアにフィッシャーマンズワーフを設立	
	施策一本化	漁港・魚市場・食堂街をいかに一本化させるか	考え方の方向は理解いただいている
		漁業・水産物流通についてはかなり理解を示してもらっている	
		全体的な説明を受けましたが理解が来ていません	
	歩行者空間	駅から徒歩・自転車での熱海港へ行くには？	歩行者が多い この人達のことを考える
		歩行者空間(銀座通り・・・)の整備はマル(必要)	提案内容と同感
		車道から歩道へ	交通量調査等
		4工区から緑地公園までの動線を活発にするには	交通体系の変更は地域住民の意見を確認しよく調べること 歩くだけでない工夫を(フィッシャーマンズワーフとか) 地元にお金をおとす工夫を 歩いて移動は大事 バス×
	クルーズ船	クルーズ船利用者の市内宿泊⇒現実性が感じられない	クルーズ船、その他にとまらせる施策の必要性
スルーズ船とスーパーヨットを誘致すればアタミ港の景観が向上する		全体の静おん度をアップさせるとよい	
海を活用するため熱海港全体の静穏度確保が大切			
懸念	交通体制	交通体系の整備⇒採算性と持続性	路線バス 補助金もらってトントン 資金についてもふみこんで検討
	クルーズ船からの人の流れ	クルーズ船が来ても宿泊は船 観光は箱根等市外に行ってしまう	現状そのとおりクルーズ船にセットになっている
	商店街のかかわり	駅から海岸線までの交通アクセスと商店街のかかわり	LRTもいいけど商店街は歩道だけえいきょうは？ 商店街そのものがおちこんでしまうかも
	漁港との調整	漁港である網代漁港との連携と調整	やるなら網代でやったらいいのでは
スーパーヨットの滞在	スーパーヨットが長期滞在した場合、港の利用に支障が生じることもありえます	ずーとスーパーヨットがいることもあるらしい 港を長期に占有、もっと調べた方がよい	

3. 熱海港客船誘致委員会（平成 29 年度第 3 回）

3.1 日時・場所

日時：平成 30 年 3 月 15 日（木）13:30～16:30

場所：熱海市役所

3.2 議事次第

1. はじめに
2. 議事～「熱海港湾エリア賑わい創出整備計画(案)」に向けた検討～
1) 委員間情報共有（アイスブレイク）
2) 情報の共有（提案の説明）
● 熱海港湾基礎調査の活用について：立見課長
● 静岡県によるポートセールスについて：静岡県港湾企画課
（1）「熱海港湾エリア賑わい創出整備計画（案）」について
（2）岸壁利用の提案、港湾・漁港関連施設の機能と配置の提案
（3）熱海港の賑わい創出に向けた提案（サンビーチ・渚町・和田浜等、交通計画）
～休憩～
3) ワークショップ（意見の共有）
①基本方針について：KJ 法
②港湾の活用について：旗立て法
③賑わい創出について：旗立て法
3. 閉 会

3.3 資料リスト

資料__1；次第（本紙）

資料__2；出席者名簿：熱海港客船誘致委員会 構成メンバー、事務局

資料__3；配席図

資料__4；ワークショップ参加のみなさまへ

資料__5；説明資料

資料__5 (1)；「熱海港湾エリア賑わい創出整備計画（案）」について

資料__5 (2)；港湾の活用

資料__5 (3)；熱海港の賑わい創出

3.4 参加者一覧等

	ご所属等	氏名	備考	
会長	熱海市 市長	齊藤 栄		(ご退席)
副会長	伊豆小型船安全協会熱海支部 支部長	鵜澤 精一	熱海港連絡協議会	(ご欠席)
副会長	熱海市観光協会連合会 会長	中島 幹雄		(ご欠席)
	熱海商工会議所 会頭 専務理事	内田 進 小松 久男		(ご欠席)
	熱海市ホテル旅館協同組合連合会 会長 専務理事	目黒 俊男 土屋 基		(ご欠席)
	大熱海漁業協同組合 代表理事組合長 参与	遠藤 哲也 森 幸裕	熱海港連絡協議会	
	株式会社富士急マリンリゾート 取締役社長 富士急行株式会社 静岡所長	鈴木 淳郎 渡井 務	熱海港連絡協議会	
	青木建設株式会社 代表取締役社長 営業係長	佐野 茂樹 鈴木 光人	熱海港連絡協議会	
	株式会社スパ・マリーナ熱海 ハーバーマスター	遠藤 光幸	熱海港連絡協議会	
	静岡県交通基盤部港湾局 局長 港湾企画課長 港湾企画課主査	杉山 雄二 木村 尚之 高石 信		(ご欠席)
	静岡県熱海土木事務所 所長	植松 静夫	熱海港連絡協議会	
	静岡県文化・観光部伊豆観光局 局長	神山 正之		
	熱海市 副市長	森本 要	熱海港連絡協議会	(ご欠席)

3.5 開催状況



市長挨拶



アイスブレイク



情報共有の様子



意見共有の様子と結果

表 3.1(1) 熱海港賑わい創出 第3回客船誘致委員会 (2018.3.15) ワークショップ意見

テーマ	記載内容
計画全体	<p>駅からのみでなく、クルーズ船の客を街中へが大切。</p> <p>クルーズ船の客を中心とした回遊性が目的。</p> <p>海から入ることも強めて。</p> <p>熱海湾(ウォーターフロント)の最後の仕上げの検討。</p> <p>海・陸両方からのアプローチ。</p> <p>一番大切なことは何か？P.2.1.ではないのでは。</p> <p>思いつきで出すものではない。過去の調査を踏まえるべき。</p> <p>熱海市の総合計画と目的の整合性。</p> <p>和田浜地区と渚町との連携が重要。</p> <p>具体性が乏しい。イメージがわからない。</p> <p>絵の具体性が必要。</p> <p>言葉のみで具体性に貧しい。</p> <p>渚地区は埋め立て地であった。再開発計画が中断した。</p> <p>海辺の玄関口ではなく「伊豆半島東海岸の玄関口」では。</p> <p>海の玄関。伊豆半島東海岸の玄関口。</p> <p>定期船の発着所はどこにあるのがベストか？は議論が必要。</p> <p>現状分析が定性的なものに留まっている。これまでの各種調査や市民アンケート、観光客アンケートを行ってどのような熱海を望んでいるかを分析すべきでは。</p> <p>市民アンケート、観光客アンケートにより、属性、移動手段、来訪目的、立ち寄り場所、良いところ・悪いところ、被害等を把握すべき。</p> <p>バックボーンが必要。市民のアンケート等が必要。 港のニーズ調査：港の利用者へ、属性、目的、良いところ・悪いところ、提言等を把握したい。</p> <p>調査がない、DATAがない、根拠がない、生の声がほしい。</p> <p>何に不満か。何を望んでいるのか？来ない人は何を思っているのか？</p> <p>定量的なDATAが少ない。もっと必要。</p> <p>観光施設用地の活用は熱海市の残された最大のテーマ。</p> <p>熱海港海釣り施設は熱海が誇るべき人気スポット。</p> <p>人が来ることが夢なのか？どこに軸を置いたのか？</p> <p>やりたいことだけが書かれている。人はいる、駅に。</p> <p>「客」とは？人はいる。何が目的なのか？</p> <p>スーパーヨット誘致のメリットをいかに伝えるのか、整理・検討が重要。</p> <p>海釣り施設付近からの避難についてどのような対策を行うべきか。</p> <p>市のみでなく、箱根エリアも含めて計画すべき。結果的に市の賑わいにつながる。</p> <p>人が来るのは夢か？ごみごみするとの意見もある。</p> <p>人が多く来ることが具体的にどうなるのか？影響は？</p> <p>大きな方向性としては異議なし。よくまとめられている。</p> <p>客船の誘致委員会としてだけでなく、港湾エリアの賑わい創出として考えてよいか。</p> <p>「市民の夢」と言われてもイメージが湧いてこない。具体性は？イメージが？</p> <p>地元の意見を吸い上げる必要あり。</p> <p>交流の拠点とは？その活動とは？</p> <p>7.5岸壁の活性化。客船の誘致だけでなく、小笠原丸の運航や自衛隊、保安庁の船も多く受け入れる。 小笠原丸を入れるべき。自衛隊・保安庁の船も。</p> <p>色々なことが考えられている。クルーズ船をきっかけとして水産が潤うはOKか？</p> <p>クルーズ船をきっかけに間接的な効果も含まれるのか？</p>

表 3.1(2) 熱海港賑わい創出 第3回客船誘致委員会 (2018.3.15) ワークショップ意見

テーマ	記載内容
計画全体	クルーズ船から考えるべきなのか？
	クルーズ船のみでなく広く検討すればよいのでは。
	クルーズ船にとらわれなくてよいはず。熱海全体の話。
	クルーズ船にこだわり過ぎると行き詰る心配。
	それをきっかけに広がる様に期待
	クルーズ船はいつかLCCみたいに安い乗り物になってしまうのではないか。その時経済効果(市中への)は望めない。
	時代が変わるのでは安価的な客層へ。
	7半岸壁の活用を高める方法はクルーズ船の他にもある(クルーズ船は頻度小)。
	7半岸壁の有効活用。
	色々な船もありえる。
	人気が出てればクルーズ船も集まる。
	今の利用者間のルール作りがほしい。 Ex. 流木の処理者は誰？
	休日(役所)の対応。
	台風で流入した流木等の処理等 行政を含めて対策・体制が必要。
	連絡網がほしい。(緊急時)
	駅から海岸へのサインがほしい(エスカレータはすぐには難しいので)。
	駅からの人の流れ-分かりやすくサイン必要。
	港:発信力up⇒住民増加
	経済効果を具体的に。住民増加等の姿を示すべき。
	必ず利害関係が生じる。街と海辺の賑わいはバッティング。
	利害関係者の調整をどうするのか。
	市としてはどう調整するのか。
	線から面への方針は良い。具体的なDATA・イメージを示すべき。
	アイデアはあるのか？商売としてのイメージがわく。
	過去の経緯に留意するが、引きつられないこと。
	過去の経緯に振り回されると失敗する。
	過去のしがらみに引っ張られない計画にしてほしい。
	生業をおびやかさないことが前提。
	NPO等のバックアップ体制が重要。企業以外にも。
	アイデアを持つ人材のバックアップ。仕組みを入れる。
	経済力の弱い方の活動へのバックアップも入れてほしい。
	人口減少・人手不足、人材を育てることが重要。
	地元出身者の育成は人材不足への対応となる。
	調理学科など教育との連携を！
	人口が増えないと観光客が増えても人手不足になっている。
	人口が減っては困るので、若い家族への支援を。
	ラスカ熱海の効果がある。
	当初の懸念が結果として全体の効果になった前例。 ex.ラスカと商店街
	良いローテーションが生まれる。
	熱海港が整備されると街にも影響がある。

表 3.1(3)熱海港賑わい創出 第3回客船誘致委員会 (2018.3.15) ワークショップ意見

テーマ	記載内容
計画全体	<p>人手不足がネック。営業時間にしわよせ。</p> <p>お昼を食べるところがない。</p> <p>観光客増で地元の従業員の昼食に影響が出ている。</p> <p>仕入、人手不足が追いついていない現実がある。</p> <p>港の売り上げはラスカによって20%落ちた。駅はよいが。</p> <p>防災の”拠点”機能を前面に出すと責任が生じる。</p> <p>「防災拠点」は必要ないのでは。</p> <p>拠点港なので構造物の建造は認められないはず。</p>
にぎわい検討	<p>階段部分のエスカレータ</p> <p>道路拡幅、全体歩道・車道</p> <p>サンビーチ⇄熱海港 回遊性の向上→防潮堤を歩く→何も無い</p> <p>防潮堤の上で商売を認める</p> <p>第一駐車場の入り口を逆に</p> <p>観光客アンケートにより、向上度の高い施設、不満な施設、このような施設が欲しい 等をつかみたい</p> <p>花火大会等歩行者が多い時は駅から海岸までトランジットモールにしたい</p> <p>熱海温泉は江戸時代から湯治場として栄えた歴史があります。歴史の中で有名な場所に故事来歴を書いた看板を作成して歴史の街を強調</p> <p>冬にもサンドアートを広める</p> <p>第一～第三公園、親水公園の護岸の活用。バルなど</p> <p>港の奥までの動線確保</p> <p>夜間バスの運行</p> <p>駐車場の全体固定額</p> <p>昼飯の時間 14時終了はだめ</p> <p>集客力がある施設までの公共交通機関がない</p> <p>飲み屋さんの営業時間 14時頃～17時まで休憩でどこもやっていない</p> <p>赤線青線の建物の観光化</p> <p>温泉文化の発掘活用</p> <p>4か国の案内看板が市内にもっと欲しい</p> <p>街歩きルートの設定とPR(神社と七湯めぐりの有効活用)</p> <p>熱海駅～藤沢通り～サンビーチの道路の修景整備が必要</p> <p>来宮神社～大湯～銀座側道路の修景 整備及び結節</p> <p>観光客の移動経路と手段を具体的に調査してもらいたい。施設と動線を定量的につかみたい</p> <p>温泉関係の研究</p> <p>自家用車と回遊バス等の公共交通手段のすみわけについて考える？</p> <p>商店街が温泉発祥の地ということが歩いていてもわからない</p> <p>駐車場の対策</p> <p>すでに温泉など歴史ある資産がある。これの結節について考えるべき(新たに作るだけのうじゃない)</p> <p>回遊-まとまっていない</p> <p>エスカレータほしい</p> <p>駅下から東海岸町までの全天候エスカレータの設置</p> <p>エスカレータが必要(全天候型)</p>

表 3.1(4)熱海港賑わい創出 第3回客船誘致委員会(2018.3.15)ワークショップ意見

テーマ	記載内容
にぎわい検討	公共交通機関を用いた回遊性向上は良いと思う
	渚親水公園においてマルシェ等飲食イベントの開催
	海釣り公園の有効活用
	民間も使えるヘリポートに
	堤防4工区+和田浜陸間の整備で回遊性を確保
	堤防上の導線から糸川遊歩道、さらに銀座商店街への案内の充実
	初川、和田川は水門整備と合わせた管理用通路整備で堤防上導線保持
	交通拠点整備(マイカー利用抑制と街中流入規制)によるパーク&ライド&ウォークの推進
	タイトルがイメージしにくい
	目立つワードにするとよい
	第1親水駐車場の出入口を逆にする
	道がわかりにくい、説明しづらい
	桜が咲いている時、とめて入りたいと思っても過ぎていく
	すぐできそうでなかなか難しい
	渋滞解消は重要。対策は最優先で進めるべき。
	交通渋滞対策はぜひ積極的に進めてほしい
	まち歩き対策。歩道狭く、歩いていて怖い。
	歩いていて怖い
	歩行空間の整備。海岸部の歩行距離が長いので、ところどころでの楽しみ拠点が必要。
	疲れてしまつて辿りつけない。ポイントで休めて面白みが欲しい。
	コンビニなどをレンタルサイクルステーションにする
	休憩する場は欲しい
	多様な移動手段。エスカレーターは早く欲しい。LRTなど熱海港の売り物を実現すべき。
	駅前に展望がないので。
	全天候型エスカレーター
	サンビーチでの地上絵(サンドアート)をもっと広めていく
	サンドアートは上から見ると見栄えが良い
	釣り堀施設の具体的な姿は?
	釣った魚を調理する施設。具体的には?
	清水のメガフロートのようなもの?あればよいができるのか?
	親水公園から港の奥まで回遊できる道を設置。
	⑨で似た施設があるが、まず⑨を優先に詰めるべき
	⑥の津波避難タワー、⑨でもタワー、重点化するなら⑨
	(既に)できている施設を優先して整備しては?
※意見特に無し	
熱海の観光資源・伝統文化である芸者が取り上げられていない	
漁師食堂。その時漁様主体のメニューの提供。ある意味殿様商売的。	
漁獲。揃える魚。思うようにいかないので獲れたもので勝負したい。	
供給側の都合で販売することは可。	
供給側で成功している例もある。	

表 3.1(5) 熱海港賑わい創出 第3回客船誘致委員会 (2018.3.15) ワークショップ意見

テーマ	記載内容
にぎわい検討	ラスカがお客さんを独り占めしすぎ。
	まとまりがなくてお金を落としにくい→お客さんが来ない
	海岸は駅前に比べて利便性がない
	なぜ海岸に人が来ないのか(お金が落ちない)
	集客力ある施設同士の交通がない
	熱海駅→(バス)→集客施設、線で結ばれてしまっている
	熱海にお金を落とすお客さんはまだいる
	バス会社2社、仲が悪い。路線譲らず。
	公共交通機関の連携がない。
	案内看板がない。(他国、4ヶ国?)
	1%でも3万人(外国人)
	建物、赤線、青線がある
	歴史強調すると厚みが出る
	熱海温泉誌発行(バカ売れ)、歴史の厚みが出る
	夏はお客さんが歩かない
	商売のチャンスは防波堤。
	外国人、お酒飲む時間も長い(夜)、それが熱海に無い。
	拠点は銀座。
	夜の回遊性は赤字覚悟。
	規制緩和。堤防の上で利用の形。
	防潮堤の上で商売ができるように。
	お客さんは防潮堤を歩いてしまうので、見晴らしが悪いし後ろのお店が流行らない。
	集中しているのは銀座通りのみ。
	船に乗って帰ってきたお客さんが昼ごはん食べられない(14時頃)。
	(お店が)早く閉まるのでお客さんに説明(紹介)できない。
	全体、出来る限り歩道も車道も拡げる。
	石畳を残しながらエスカレーター
	大理石の階段は歴史があるので残してほしい。その横にエスカレーター。
	夏のシーズンの港にいくお客さんを逃している。駐車場問題。
	駐車場の弾力的活用
	駐車場に入れない車が渋滞を起こす
	駐車場経営は赤字。
	夜の対策、市も色々やっている。
	ホテルが夜のお客を困っている。
	1泊2食も崩れてきて外で食べる人も。
	事例をどこに入れるor適用するか
事例の具体性が無い	
第4工区ができれば動線ができるので、人も移動するのでは。	
熱海も川床と海上タクシーを実施した(去年)	
サンビーチから第4工区までの動線確保はできる。	

表 3.1(6)熱海港賑わい創出 第3回客船誘致委員会 (2018.3.15) ワークショップ意見

テーマ	記載内容
にぎわい検討	<p>海→街中へ人を。糸川から商店街へ人を呼び込む必要がある。</p> <p>銀座通りが温泉の発祥。</p> <p>街歩きルート設定+PR。温泉玉子のところ。七温泉、大湯も。</p> <p>温泉神社→温泉発祥</p> <p>海と駅の最短経路を修景。視点場整備。車も人も。</p> <p>歩行者も通れる最短道、再検討しては？集計整備</p> <p>花火大会など歩く人が多い時など車禁止。社会実験でも。</p> <p>施設？？のデータが欲しい。(ドコモデータ)</p> <p>ドコモデータ、数値(人数)で示してほしい</p> <p>施設の利便性のアンケート結果が欲しい。</p> <p>観光客の動線、人数、施設の集客量など、データで示してほしい</p> <p>今あるものを有効活用(海釣り公園)</p> <p>温泉玉子を作っている学生がいつもいる。SNS？</p> <p>もともとある資源の結節が弱い</p> <p>自家用車で回遊させるつもりなのか、はっきりしない</p> <p>駅ビルが立派になって周辺の商店街がさびれている</p> <p>にぎわい創出、さらに進める</p> <p>観光施設用地の利活用が課題。ホテルという話も。</p>
港湾検討	<p>水陸両用車</p> <p>サザンビーチ シーズン有料にして設備を向上</p> <p>近年増えてきた若年層、特に女性を港に呼び込むことが大事</p> <p>クルーズ船等の来客が市内で楽しむスポット作りを提言してもらいたい</p> <p>船主が熱海港に期待すること、不満に思っていることを調査してもらいたい</p> <p>ラグジュアリークラスが入ってきて、活性化・賑わいとなっている事例を示してほしい</p> <p>海からの来訪客層を十分研究した誘致活動を</p> <p>クルーズ船にこだわらず、いろいろな船の誘致。7.5岸壁</p> <p>クルーズ船が接岸していなくても行ってみたいくなる施設</p> <p>うめたててほしい</p> <p>フィッシャーマンズワーフ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規模が不明 ・具体的な計画を描くべき ・大規模なものが好ましい <p>現在ごちゃごちゃしている漁港施設を総合的に整備してほしい。外部からの景観もよくなるよう。</p> <p>定期船発着所とフィッシャーマンズワーフ施設を一体的に整備</p> <p>定期船発着場付近の津波対策が必要ではないか(和田浜地区は津波浸水エリア)</p> <p>給油所の設置(ボート・ヨット・漁船)</p> <p>津波タワー(2カ所の……)</p> <p>七半岸壁に賑わいが生じると現在の引込道路では身動きがとれなくなる。それで親水公園渚デッキから橋を渡して車の渋滞を軽減する必要がある</p> <p>道路広げる</p> <p>港湾の整備は賛成ですが、花火大会への影響は</p> <p>全般的に導入施設に定量的根拠が薄い</p> <p>漁港機能の付加として海水基地・ダイビングまで入れられるのか。もっとふさわしい場所があるのでは</p> <p>定期船と遊覧船の乗り場を一体化する理由？</p>

表 3.1(7)熱海港賑わい創出 第3回客船誘致委員会 (2018.3.15) ワークショップ意見

テーマ	記載内容
港湾検討	<p>商業施設と待合所は一体化しての方がよい(サンレモ……)</p> <p>定期船発着所 ・規模の根拠不明(大きすぎる?) ・事業主体要調整</p> <p>定期船発着所とフィッシャーマンズワーフ施設を一体的に整備水上タクシーを同じ場所にするのは無理ではないか</p> <p>クルーズ船整備関係と採算</p> <p>港の湾奥部は狭いのでクルーズ船・スーパーヨットは7.5岸壁に集約すべき</p> <p>漁船とプレジャーボートの航行・係留等にトラブルが生じないよう細心の配慮を求む</p> <p>スーパーヨットが定期船に邪魔?防潮堤もできる</p> <p>タグボートの必要のないクルーズ船の接岸</p> <p>スーパーヨットのメリット(経済効果等)をどうPRするのか</p> <p>・スーパーヨットの係留施設の規模は大丈夫? ・事業主体要調整</p> <p>海上タクシーについては十分検討必要</p> <p>補助金ありきは何</p> <p>七半岸壁に港を作ることは賛成ですが、そのランニングコストは熱海市がするの?</p> <p>海上タクシーは有効な移動手段</p> <p>海上タクシーで横磯～親水公園～熱海港から7.5を結ぶ</p> <p>津波避難タワーは必要だと思います</p> <p>クルーズ船とビーチレジャーを組み合わせると楽しみが出てくるのでは?</p> <p>海上タクシー</p> <p>スーパーヨットは熱海港の景観が向上する。経済効果や雇用促進につながる</p> <p>イベント会場</p> <p>湾奥屈曲部 道路線形変更とともに●線利用は?</p> <p>フィッシャーマンズワーフは欲しい施設</p> <p>交差点改良、屈曲部改良 賛成</p> <p>まとめて集客</p> <p>ラグジュアリー船の誘致に賛成</p> <p>海上タクシー有効、渋滞解消、海から熱海を見る、低コストで導入</p> <p>海上タクシー、社会実験実施、??、定期船、??ビーチ、??ビーチまでの誘導がポイント</p> <p>駅から海へ人を降ろすことが重要。エスカレーター。</p> <p>港内の回遊性向上。海上タクシー。</p> <p>熱海の魅力向上、施設投資は小さくても大丈夫、経済効果大、雇用が生じる</p> <p>港の奥は狭い。スーパーヨット、クルーズ船は??に集約</p> <p>クルーズ船にこだわらず色々な船を誘致。自衛隊の船でもよい。</p> <p>熱海と色々な船が景観になる。</p> <p>漁船とプレジャーボートの航行安全は?漁業者の安全確保対策を検討すべき。</p> <p>定期船発着と海上タクシーの共有は難しい。</p> <p>現在ゴチャゴチャしている漁港施設を整備してほしい</p> <p>若年層の女性を熱海港(港)に呼び込む工夫が必要</p> <p>ここでダイビングは不可。沖合に行く。</p> <p>給油施設は必要。第4工区のあたり。</p> <p>給油施設は民間では作れない。工事の中でやってほしい。</p>

表 3.1(8)熱海港賑わい創出 第3回客船誘致委員会 (2018.3.15) ワークショップ意見

テーマ	記載内容
港湾検討	<p>ビジターの給油施設のあり方。現状の給油方法はよくない。</p> <p>漁港もマリーナも一般も使える給油施設が必要。</p> <p>定期船発着所。FW一体化に協力体制。</p> <p>給油の利益を漁協に入る仕組みがあっても(よいのではないか)</p> <p>ヘリポート、みんなが使えるように。</p> <p>ヘリポートが無いからマリーナ解約の場合もあり、誰でも使えるヘリポートが必要。</p> <p>クルーズ船の誘致、整備採算</p> <p>-7.5m岸壁、クルーズ船受け入れ、賛成だがランニングコストは？</p> <p>タグボート必要性(高価)、静穏度、接岸時の課題。200万円/1隻</p> <p>クルーズ客、熱海にとどまらない</p> <p>ラグジュアリー船接岸、景観向上</p> <p>海岸船、散策路、回遊性が高まるとよい</p> <p>人が集まる施設。水族館。</p> <p>スーパーヨット縦置き、定期船に邪魔&出にくい</p> <p>港湾整備には賛成。花火大会との調整が必要。</p> <p>花火大会は年14回以上。</p> <p>湾奥、埋め立ててほしい</p> <p>湾奥の道路を拓げる</p> <p>-7.5m岸壁が賑わうと(よい?)、埋立地へ橋をかける</p> <p>集客施設の一体化。相乗効果がある。</p> <p>FWを中心とした一体化</p> <p>サンレモ公園を活かすべき</p> <p>津波避難タワーの位置、埋め立て、陸、一つに調整</p> <p>海上タクシーありきは不可。</p> <p>路線ベース無いところで海上タクシーは不可、</p> <p>海上タクシーは補助金が必要。</p> <p>水陸両用車の導入。パーク&ライド施設と連携。</p> <p>海と陸で回遊。水陸両用。</p> <p>遊々水上バス</p> <p>ホテルに横付け→水陸両用。バスで海上周遊。</p> <p>水陸両用と漁船出入りとの住み分け調整</p> <p>水上バス、定期船との調整必要</p> <p>ビーチ有料にして積極整備</p> <p>サンビーチから定期船、??初島へ行く</p> <p>サンビーチと初島の両方を楽しむ人がいる</p> <p>サンビーチ、シャワー設備</p> <p>クルーズ船が市街で楽しめるものを考えるべき</p> <p>海外からの来訪。欧米の方は回遊する。港を歩いて散策する。</p> <p>ラグジュアリークラスとは?成功事例、具体例の検証</p> <p>船主が熱海に期待することを調査すべき。</p>

表 3.1(9) 熱海港賑わい創出 第3回客船誘致委員会 (2018.3.15) ワークショップ意見

テーマ	記載内容
港湾検討	<p>海上タクシー失敗事例多い。にぎわいある横浜島は成功。にぎわいが出てきてから。</p> <p>避難タワーは必要。埋立地→後樂園ホテル？、時間かかる</p> <p>港奥部の道路の線形改良賛成。護岸構造の検討必要。</p> <p>導入施設の設定根拠、規模等を具体的に。</p> <p>スーパーヨットの大きさに応じた受け入れを検討すべき</p> <p>FWは具体的規模等を計画すべき。</p> <p>FWの必要性→規模→絵も描く。</p> <p>網代の魚は熱海に来るのか</p> <p>網代→東京、大？熱海漁協の魚</p> <p>網代漁港との関係</p> <p>網代は漁業だけで食べて行けるのか。さみしくないのか。</p> <p>FW、網代では盛り上がらなかった。</p> <p>屈曲部の改良、港出口の改良 賛成</p> <p>定期船と遊覧船、一体化の根拠</p> <p>定期船発着所近辺、避難タワー必要</p> <p>ピーチレジャー、ゾディアック、来訪者の十分な研究必要</p> <p>ニーズ調査十分に。喜ぶ施設づくり。</p> <p>調査のバックデータが少ない。</p> <p>スーパーヨットの経済効果。PRの方法。個人に公共私用させることにも問題。</p> <p>スーパーヨットで確実に市内消費上がるのか？</p> <p>スーパーヨット、アマゾンで購入、経済効果の検証必要、公共(施設?)に個人のための整備は難しい。</p> <p>スーパーヨットの客はわがまま。そのための施設づくりは？既存活用すべき。</p>